

# 磐崎小学校だより

いわき市立磐崎小学校 文責：校長 圓谷 貴

## 好きなもの・得意なものを伸ばそう



3月も残すところあとわずかとなりました。子どもたちも学年末の学習に一生懸命取り組んでいます。

磐崎小学校の子どもたちは、まだまだ伸びしろがあります。その子どもたちには、夢や希望を明確にし、目的ある生活や学習に取り組んで欲しいと思います。

子どもたちの好きなことや得意なことを学習とを関連づけ、自分自身に自信を持たせながら取り組ませていきたいものですね。

## 体力の課題について



## NRT学力検査について



スポーツテストの結果が届きました。その結果を見ると、ほぼ全ての項目において、本校は全国平均を下回ってしまいました。

日々の授業では、体力向上プログラムを活用した授業や、縄跳びや持久走などの継続的な取り組みを行っています。それでも運動能力が低い理由は、水はけの悪い校庭や狭い体育館等の施設の問題、震災以降の運動経験の不足等の要因も考えられます。

しかし、一番大切なことは日常的に体を動かす機会や経験であると考えます。

学校や家庭における日常の生活の中で、体を動かす機会や経験を、意図的・恒常的に作っていく必要があります。

NRT学力検査の結果が届きました。全体として、国語・算数とも平均は上回っているものの、伸び率はそれほど大きいものではありませんでした。

本校では、「学びのスタンダード」事業の2年目を迎え、年間を通して授業研究を行っています。特に算数のT・Tの授業や「知識」に関する事項についてはある程度の成果を上げています。しかし「活用」問題や家庭学習の取り組みには課題があるようです。学力にはかなりの個人差があるのも事実です。詳しくは、後日個人成績表が渡されますので、ご確認下さい。

次年度も学力向上に向けて取り組んで参ります。ご家庭のご協力を宜しくお願いいたします。

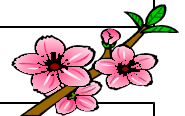
## 特別支援教育体制の構築



次年度、磐崎小の特別支援教育体制を充実させます。平成31年度は、通常学級19学級、特別支援学級3学級の計22学級となります。特別支援学級は知的学級の他に、自閉症・情緒学級と病弱学級を新設します。また、通級指導教室「LD」も立ち上げます。

教育の適時性に鑑み、早期発見・早期対応に努めて教育すれば、十分な成果を上げることができるものと考えます。全ての子どもたちのため、個別の指導体制を整え将来の自立に向けた取り組みを進めていきます。

## ワンポイントアドバイス⑱ ～アドラー心理学より～



「アドラー心理学」とは、心理学の三大巨頭とも呼ばれる心理学者、アルフレッド・アドラーが提唱した考え方です。この心理学の理論は、簡単に言うとすべての悩みをポジティブにしていく考え方で、過去に何があっても未来には何も影響がないと説くというものです。「原因(過去)」ではなく「目的(希望)」に意識を向ける考え方なのです。

日本では、どちらかというと、失敗に対して「何でこうなったのか?」「原因はどこにあるのか?」というふうに過去を追及してしまう傾向にありますから、アドラー心理学の考え方は、ある意味新鮮なものと言えます。

マイナス思考の人は、プラス思考になりたいと思うようです。その時に失敗することがあります。理由は簡単です。意味を理解し目標を明確に理解していないからです。だから、常に、『～ならなければ』と考えるようです。これが、自己を評価し自己否定をしていることに気づいていないのです。

マイナス思考がダメではないのです。マイナス思考をプラス思考にするのではなく、持っているものを使うこと。その思考を使うことに気づくことが大切なのです。

「原因を探るのではなくこれからをどうするか」に意識を向けること、そして「人事を尽くして天命を待つ」考え方などが参考になったので、ご紹介させていただきました。